

多度津町「第2次地球温暖化対策実行計画」 ～平成24年度 実施状況報告～

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成20年度に策定した「多度津町地球温暖化対策実行計画（第2次）」は、第1次実行計画に引き続き、温室効果ガス排出量および数値目標の達成状況等を把握し、温室効果ガス排出の抑制を行うことで、地球温暖化対策の推進に取り組んでいくことを目的として実施しています。

計画の概要

- 計画の基準年：平成19年度
- 実行計画期間：平成21年度～平成25年度（5年間）
- 調査対象施設：庁舎を含めた公共施設
- 計画対象温室効果ガス：CO₂（二酸化炭素）
- 基準年の温室効果ガス排出量：1,490 t
- 温室効果ガス削減目標：1.5%削減（目標排出量 1,467 t）

平成24年度温室効果ガス排出状況

- 平成24年度の温室効果ガス排出量は1,422 tとなり、基準年の排出量に対して4.5%（約68 t）削減しました。
- 温室効果ガス排出源構成では、電気使用による排出量が全体の56.5%を占めています。
- 排出源別温室効果ガス排出量の増減状況は、LPG及び都市ガス使用による排出量は増加していますが、ガソリン、軽油、灯油、A重油及び電気使用による排出量は減少しています。
 - ⇒平成24年度の温室効果ガス排出量の減少要因は、浄水場での動力（モータ）機器の稼働状況による電気使用に伴う排出量の減少によるものです。
 - ⇒LPG使用による排出量の増加は、平成21年度に学校給食調理場での給湯機器の入れ替えにより、燃料がA重油からLPGに切り替わったことによるものです。

温室効果ガス削減に向けての今後の課題

- 平成24年度の多度津町の温室効果ガス排出状況は、基準年の排出量に対して4.5%削減し、現状では削減目標の1.5%を達成する結果となりました。本町の排出源構成において電気使用による排出量が最も多い（全体の約57%）ことから、電気使用量の削減は本町の温室効果ガスの削減には欠かせない要素であると言えます。本町では、
- 職員の取組に加えて、各施設で空調・照明等の設備の更新を進め、エネルギー効率の向上を図る
 - 職員一人ひとりが電気に関する取組（空調・OA機器・照明）を今後も継続的に実施し、定着させる
- などの取組が温室効果ガス削減へ向けた今後の課題となります。

節水にご協力をお願いします！

電気使用による排出量のうち水道水を供給するための浄水場やポンプ場などの動力によるものが約13%と最も多くを占めています。町民の皆さんが節水を行うことで、浄水場やポンプ場などでの電気使用量が減り、温室効果ガスの削減につなげることができます。地球温暖化防止に向けて、皆様のご協力をよろしくお願いします。

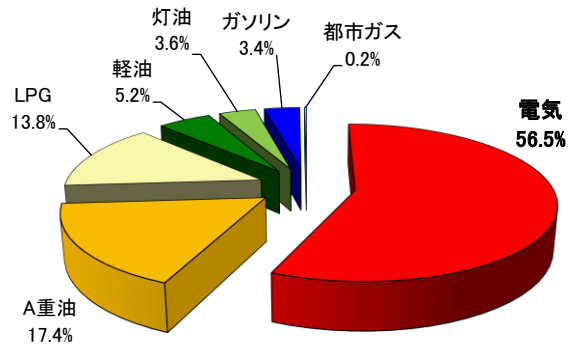


●温室効果ガス排出量推移

（単位：トン）

年度	温室効果ガス排出量	基準年対比
基準年	1,490	0.0%
H20年度	1,495	0.3%
H21年度	1,435	-3.7%
H22年度	1,503	0.9%
H23年度	1,459	-2.1%
H24年度	1,422	-4.5%
目標値	1,467	-1.5%

●温室効果ガス排出源構成



注) 率の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合があります。

●排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

（単位：トン）

項目	平成19年度 (基準年)	平成24年度			
	排出量	排出量	前年度対比	基準年対比	
燃料	ガソリン	54	49	0.1%	-8.8%
	軽油	90	73	1.9%	-18.8%
	灯油	71	51	8.5%	-27.9%
	A重油	397	247	4.5%	-37.7%
	LPG	31	196	-0.5%	523.1%
	都市ガス	3	3	-3.8%	3.3%
電気	844	803	-6.1%	-4.8%	
温室効果ガス全体	1,490	1,422	-2.5%	-4.5%	

